

BABYMONSTER、Creepy Nuts、牛尾憲輔とともにつくる

### 「Sony Park 展 2025」 Part 2 を 4 月 20 日（日）より開催！

<https://www.sonymark.com/sonyparkten2025/> #SonyPark 展 2025

Ginza Sony Park（銀座ソニーパーク）は、1月のグランドオープン時より、ソニーグループの6事業をテーマに個性豊かな6組のアーティストとともにつくるクリエイティブな体験型プログラム「Sony Park 展 2025」を開催。Vaundy、YOASOBI、羊文学が参加し、連日満員で終了した「Sony Park 展 2025」Part 1に続き、新たにBABYMONSTER、Creepy Nuts、牛尾憲輔が参加する「Sony Park 展 2025」Part 2を、2025年4月20日（日）より開催します。



「Sony Park 展 2025」Part 2では、ソニーグループのゲーム、エンタテインメントテクノロジー、映画の3つの事業を「ゲームは、社交場だ。」「エンタテインメントテクノロジーは、ストリートだ。」「映画は、森だ。」の3つのテーマに変換させた体験型プログラムとしてお届けします。

「ゲームは、社交場だ。」ではBABYMONSTERとともに、楽曲「SHEESH」や「DRIP」をモチーフとした、このために制作したオリジナルゲームが体験できる新感覚の“社交場”を作ります。

「エンタテインメントテクノロジーは、ストリートだ。」は、Creepy Nutsの「Bling-Bang-Bang-Born」や「通常回」のライブパフォーマンスなどを、ソニーの高画質LEDディスプレイCrystal LEDと約20台ものスピーカーを使った立体音響で体感するインスタレーション。彼らのこれまでの挑戦の連続と“ストリート魂”の歴史を、回遊しながら楽しめる音楽体験です。

「映画は、森だ。」では、映画のサウンドトラックを題材にした牛尾憲輔の思考の“森”が広がる空間で、新たな映画に出会う体験です。また、彼が音楽を担当する新作アニメ劇場版『チェンソーマン レゼ篇』のGinza Sony Park限定ミニシアターも登場。

いずれも、ソニーグループの事業をテーマに、アーティストのクリエイティビティとソニーのテクノロジーを掛け合わせ、Ginza Sony Parkならではのユニークな体験を生み出します。

本プログラムは入場無料にてお楽しみいただけます。事前予約は4月8日（火）11:00（予定）より受付を開始します。「Sony Park 展 2025」Part 2の情報は公式Webページで順次公開していきます。

## ■ 「Sony Park 展 2025」 Part 2 について

### 概要

日程：2025年4月20日（日）～6月22日（日）11:00～19:00（予定）

場所：Ginza Sony Park

入場：事前予約制・無料

＊2025年4月8日（火）11:00 予約開始

＊当日枠も若干数ご用意いたします。混雑時は受付を終了する場合があります。

Web：<https://www.sonypark.com/sonyparkten2025/>

SNS：Instagram：<https://www.instagram.com/ginzasonypark/>

ハッシュタグ：#SonyPark 展 2025

### 体験内容

#### ・『ゲームは、社交場だ。』 / with BABYMONSTER

BABYMONSTER の人気楽曲をモチーフにしたオリジナルゲームが体験できる新感覚の“社交場”をつくります。

プレイヤーは、'SHEESH' の楽曲に合わせて、ソニーが開発中の触覚提示技術を用いた「ハプティックコントローラー」を使い、BABYMONSTER のシンボルマークをハンティングするミュージックゲームがお楽しみいただけます（体験人数に限りがあるため、会場抽選制です）。

また、楽曲 'DRIP' の体験ゾーンでは、ミュージックビデオに登場するカセットテープをモチーフにしたアーケードゲームや、ソニーの3D キャプチャー技術（\*1）を活用し、自分のデジタルキャラが楽曲に合わせて踊り出すスマホサイズの縦型動画をつくることができます。

壁面モニターでは、Instagram で「#SONYPARK\_BABYMONSTER」をつけた投稿が集まるデジタルの社交場が広がります。その場で投稿すると、会場限定のステッカーをプレゼントします（1人1枚限り、なくなり次第終了）。

#### ・『エンタテインメントテクノロジーは、ストリートだ。』 / with Creepy Nuts

2025年11月にメジャーデビュー8周年を迎える Creepy Nuts。今回の展示では、過去と未来をつなぐ、彼らのこれまでの挑戦の連続とストリート魂の歴史を感じる音楽体験をつくります。

体験できるのは、【Creepy Nuts ONE MAN TOUR 2024】での「Bling-Bang-Bang-Born」や、今年2月の【Creepy Nuts LIVE at TOKYO DOME】での「通常回」のライブパフォーマンスなど、このプログラムのために制作されたオリジナルコンテンツ。

鏡で囲われた空間に、8台のサイズの異なるソニーの高画質 LED ディスプレイ Crystal LED と、約20台ものスピーカーで構成する立体音響により、回遊しながら臨場感溢れる音楽体験をお楽しみいただけます。また、ソニーの触覚提示技術を搭載したベンチ（\*2）に座ることで、音楽と振動の融合を体感いただけます。

## ・『映画は、森だ。』 / with 牛尾憲輔

音楽家・牛尾憲輔が、映画のサウンドトラックをテーマにした森の空間をつくります。彼が自らキュレーションした20の映画作品のサウンドトラックを聴きながら、牛尾憲輔の思考の中にある映画という森に一步足を踏み入れることで、新たな映画作品に出会う体験です。

また、牛尾憲輔が音楽を担当する、2025年9月19日全国公開の新作アニメ劇場版『チェンソーマン レゼ篇』のトレーラー作品を楽しめるGinza Sony Park限定のミニシアターも登場。190インチの大型スクリーンで上映される映像に合わせて、ソニーの立体音響技術を用いた「360 Reality Audio」(\*3)でミックスした音源と、振動する床面(\*4)がシンクロすることにより、ここでしか味わえない迫力の視聴体験がお楽しみいただけます。

### \*1 可搬型ボリュームメトリックシステムについて

複数台のカメラを使用し、人間をありのままの姿で3D化するボリュームメトリックキャプチャ技術に、持ち運びができる可搬性を融合させた撮影システム。

### \*2 触覚提示技術 Haptics (ハプティクス) を使った「Active Slate」

人の歩行にあわせて多彩な振動フィードバックを実現。Haptic Floorにインタラクティブ性をもたせ、床が水たまりや砂浜に変わったかのように感じさせる技術。

<https://www.sony.com/ja/SonyInfo/research/projects/haptics/>

### \*3 立体音響技術を使った音体験「360 Reality Audio」

ソニーのオブジェクトベースの立体音響技術で、アーティストがライブ演奏をする場に入り込んだかのような、臨場感豊かな音場を実現する音楽体験。

<https://www.sony.com/ja/SonyInfo/technology/stories/entries/360RA/>

### \*4 触覚提示技術 Haptics (ハプティクス) を使った「Haptic Floor」

床からの振動フィードバックのみでありながら、ソニーがこれまで培ってきた信号処理技術とノウハウを駆使して、繊細で臨場感の高い感触を全身に届ける技術。

<https://www.sony.com/ja/SonyInfo/research/projects/haptics/>

## ■ 「Sony Park 展」とは

ソニーが取り組む多様な6つの分野「音楽、半導体、金融(ファイナンス)、ゲーム、エンタテインメントテクノロジー、映画」を、「音楽は、旅だ。」「映画は、森だ。」などのさまざまなテーマに変換し、6組のアーティストのクリエイティビティとソニーのテクノロジーを掛け合わせてお届けするユニークな体験型のプログラムです。

2021年に銀座、2022年には京都、そして2025年にはGinza Sony Parkのグランドオープンに合わせて、Part 1を1月26日~3月30日に開催。連日満員で大変ご好評いただいたGinza Sony Parkを代表するアクティビティのひとつです。



## ■ 参加アーティストプロフィール

### < 「Sony Park 展 2025」 Part 2 >

#### BABYMONSTER

BABYMONSTER は YG ENTERTAINMENT から約 7 年ぶりにデビューしたガールズグループで、韓国、タイ、日本出身の多国籍メンバーで構成されている。

ボーカル・ダンス・ラップ・ビジュアルなど何ひとつ抜けがない'オールラウンダー'グループとしてその存在感を世界に刻印している。

2024 年 4 月、1st ミニアルバム[BABYMONSTER]を通してデビューし、ガールズグループのデビューアルバム初動 1 位達成、タイトル曲 'SHEESH' でガールズグループデビュー M/V 最短 1 億回再生突破、デビュー 2 か月で Spotify ストリーミング再生 1 億回達成などの記録を立て、グループ名にふさわしい怪物のような新人の姿を見せてくれた。

同年 7 月、デジタルシングル[FOREVER]を発表した彼女らは続いて 11 月 1 日、公式デビュー 7 ヶ月ぶりに超高速で 1st フルアルバム[DRIP]を発売した。このアルバムはアメリカの Billboard メインチャートである 'Billboard200' に 149 位で初ランクインに成功し、タイトル曲 'DRIP' はグローバル(Billboard Global Excl.U.S)と Billboard のグローバル 200 でそれぞれ 16 位、30 位にランクインし、自己最高順位を更新した。アメリカの Billboard もやはり彼女らを「2024 年最も有望な KPOP 新人」に挙げ、高い期待感を示した。



Web : <https://yg-babymonster-official.jp/>

Instagram: [https://www.instagram.com/babymonster\\_ygofficial/](https://www.instagram.com/babymonster_ygofficial/)

X : [https://x.com/\\_BABYMONSTER\\_JP](https://x.com/_BABYMONSTER_JP)

#### Creepy Nuts

日本三連覇のラッパー「R-指定」と世界一の DJ「DJ 松永」による HIP HOP ユニット。

2017 年 Sony Music よりメジャーデビュー。

2021 年アルバム「Case」収録曲の「のびしろ」が国内で話題を呼び、自身初のストリーミング累計再生数 1 億回を突破。

2024 年に配信シングル「Bling-Bang-Bang-Born」が国内外のチャートを席巻し、ストリーミング累計再生数 7 億回を記録。

2025 年 2 月にはアルバム「LEGION」をリリース、自身最大となる東京ドーム公演を開催し、即日完売となった。

10 月には初となるアジアツアーを開催する。

Web: <https://creepynuts.com/>

Instagram: [https://www.instagram.com/creepynuts\\_official](https://www.instagram.com/creepynuts_official)

X: [https://x.com/Creepy\\_Nuts](https://x.com/Creepy_Nuts)

TikTok: [https://www.tiktok.com/@creepy\\_nuts\\_](https://www.tiktok.com/@creepy_nuts_)



## 牛尾 憲輔

2008年12月にソロユニット"agraph"としてデビューアルバム『a day, phases』をリリース。

2011年中村弘二、フルカワミキ、田淵ひさ子とともにバンド"LAMA"を結成。

2012年以降は電気グルーヴのライブサポートメンバーとしても活動する。

2014年TVアニメ「ピンポン」で劇伴をはじめて担当。

2024年、劇伴作家としては10周年を迎える、

同年4月17日アムステルダムで「チェンソーマン Live set」と銘打ち単独公演を大成功する。

同年11月20日には牛尾憲輔名義としては初の日本での単独公演「牛尾憲輔 behind the dex」

を実施。

2024年後半も劇場映画山田尚子監督「きみの色」、TVシリーズアニメ「ダンダダン」「チ。」の音楽担当と海外でも人気のある話題作が続く。

2025年には「劇場版チェンソーマン - レゼ篇 -」の全世界公開が決定。

Web : <https://www.agraph.jp/>

Instagram : <https://www.instagram.com/agraph/>

X : <https://x.com/agraph>



## < 「Sony Park 展 2025」 Part 1 >

### Vaundy

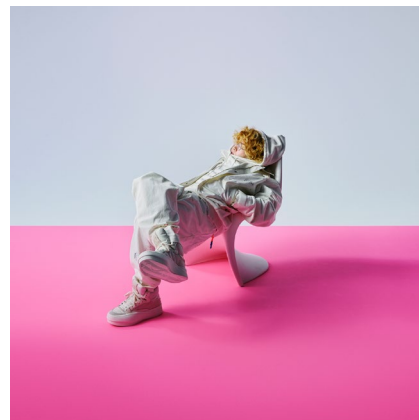
Vaundy(バウンディ)。24歳。作詞、作曲、アレンジを全て自分でこなし、デザインや映像のディレクション、セルフプロデュースも手掛けるマルチアーティスト。2019年春頃からYouTubeに楽曲を投稿開始。

「東京フラッシュ」「不可幸力」など、耳に残るメロディーを持つ、幅広いジャンルの楽曲を発表すると、瞬く間にSNSで話題に。サブスク令和時代の象徴的な存在として注目を集めており、16曲が1億回再生を突破、日本ソロアーティスト1位の記録を打ち出している。2024年秋現在、YouTube・サブスクリプションのトータル再生数は、83億回以上を突破。リリース配信楽曲は長期にわたりチャートイン。CM、ドラマ、アニメなど各方面でタイアップ曲に多数起用されている。

「地球儀 with Vaundy/Aimer」、「おもかげ」(milet×Aimer×幾田りら)、「逆光」(Ado)など、フィーチャリングでの参加や楽曲提供及びプロデュースでその手腕を余すことなく発揮。菅田将暉「惑う糸」では、初のミュージックビデオの監督も務めた。その波は海を越え、LAUVからオファーを受けグローバルリミックスアルバムへの参加や、グローバルチームにて制作された「不可幸力 (Global Dance Video)」が世界的なカルチャーサイト Nowness ピックアップされるなど、国内外での活動も積極的に行う。2022年12月31日、第73回NHK紅白歌合戦に初出演。「怪獣の花唄」「おもかげ(produced by Vaundy)」(milet×Aimer×幾田りら×Vaundy)、2曲をライブにて披露。各サブスクリプションにて首位を取得するなどチャートアクション含めて大きな話題を集めた。2023年11月15日、前作「strobo」より約3年半ぶりとなる全35曲入りCD2枚組の2ndアルバム「replica」をリリース。「花占い」「踊り子」「恋風邪にのせて」「CHAINSAW BLOOD」「そんなbitterな話」など多くのストーリーミングヒット曲と新曲で構成され、チャートアクション、パッケージ含めて大きな話題を呼んだ。

耳を捕らえ、一聴で癖になる天性の声と、破格の才能を感じさせるジャンルに囚われない幅広い楽曲センスで、ティーンを中心にファンダムを急速に拡大し、令和の音楽シーンを牽引している。

開催したライブは全て即日完売。自身初となるアリーナ公演となった日本



武道館 2days 公演は 26000 人を動員、2023 年秋から開催された 6 都市 12 公演から成る全国アリーナツアーは 150,000 人を動員した。現在、2024 年秋より全国 10 都市 20 公演を巡る 250,000 人を動員する自身最大規模のアリーナツアーの開催中。また、2025 年 7 月からは初のオフィシャルサイト VAWS の全国ホールツアー「Vaundy one man live VAWS Hall tour 2025」を 13 都市 26 公演にて開催することも決定している。

Web : <https://vaundy.jp/>

Instagram : [https://www.instagram.com/vaundy\\_engawa/](https://www.instagram.com/vaundy_engawa/)

X : [https://x.com/vaundy\\_engawa](https://x.com/vaundy_engawa)

## YOASOBI

コンポーザーの Ayase、ボーカルの ikura からなる“小説を音楽にするユニット”YOASOBI。2019 年 11 月に公開したデビュー曲「夜に駆ける」のストリーミング累計再生回数は史上初の 11 億回を突破。2023 年 4 月リリース「アイドル」は、米ビルボード・グローバル・チャートで 1 位を獲得。2024 年 4 月には世界最大級のフェス「コーチェラフェスティバル」へ出演するなど、国内外のあらゆる場面で活躍を見せている。2024 年 10 月に結成 5 周年を迎え、自身初のドーム公演を開催。12 月～2025 年 2 月にかけて、7 都市 14 公演をまわる日本人アーティスト史上最大規模のアジアツアーを実施。

Web : <https://www.yoasobi-music.jp/>

Instagram : [https://www.instagram.com/yoasobi\\_staff/](https://www.instagram.com/yoasobi_staff/)

X : [https://x.com/YOASOBI\\_staff](https://x.com/YOASOBI_staff)



## 羊文学

Vo.Gt.塩塚モエカ、Ba.河西ゆりか、Dr.フクダヒロアからなる、繊細ながらも力強いサウンドが特徴のオルタナティブロックバンド。2017 年に現在の編成となる。2020 年 F.C.L.S.(ソニー・ミュージックレーベルズ)よりメジャーデビュー。2022 年リリースのアルバム「our hope」が、第 15 回 CD ショップ大賞 2023 大賞<青>を受賞。同年「more than words」が TV アニメ『呪術廻戦』『渋谷事変』のエンディングテーマに抜擢。国内 1 億ストリーミングを突破し、Apple Music や iTunes など音楽配信サイトで 1 位を獲得するなど大ヒットを記録。同楽曲を収録したメジャー 3rd フルアルバム『12 hugs (like butterflies)』はデジタル・CD 共に主要チャートにおいて全てトップ 10 入りを果たし、自身の記録を大きく更新した。TV アニメ「【推しの子】第 2 期」ED 主題歌「Burning」が現在ヒット中。

ライブ活動においては、2023 年 FUJI ROCK FESTIVAL'23 で日中の GREEN STAGE 出演アーティストとしては異例の動員数を記録。2024 年 4 月に開催した、キャリア史上最大規模の横浜アリーナ単独公演「羊文学 LIVE 2024 "III"」のチケットは発売開始直後 3 分で即完した。さらに初のアジアツアー「羊文学 Hitsujibungaku ASIA TOUR 2024」にも挑戦、追加公演含む全 11 公演を大成功させた。

2025 年新曲「声」がフジテレビ系月 9 ドラマ主題歌に決定、さらなる飛躍を目指して躍進中。

Web: <https://www.hitsujibungaku.info/>

Instagram: <https://www.instagram.com/hitsujibungaku/>

X: <https://x.com/hitsujibungaku>

TikTok: [https://www.tiktok.com/@hitsujibungaku\\_official](https://www.tiktok.com/@hitsujibungaku_official)



## ■ Ginza Sony Park について



Ginza Sony Park は、東京・銀座の数寄屋橋交差点の一角にある「都会の中の公園」です。公園とは本来、使い方が決められていない余白があるからこそ、人々が自由に関わり、新しい体験が生まれる場所。Ginza Sony Park は、「余白」をデザインすることで、訪れる人が自由に使えるパブリックな場となり、そこに新たな「アクティビティ」を生み出しています。これは、ソニービルが大切にしてきた「街に開かれた施設」というコンセプトを継承したのもでもあります。

地下4階・地上5階建ての特徴的な建築は、あえて銀座の標準的なビルの半分ほどの高さに抑え、街に空間的な余白とリズムをもたらしています。地上は三方が通りに開かれ、地下鉄や地下駐車場とも直結。さらに、地下1階から地上2階へと広がる大きな吹き抜け構造や縦のプロムナードが、街とのシームレスな繋がりをより都会的で立体的なものにしています。

Ginza Sony Park では常設のテナントを設けず、余白を生かした多彩なアクティビティを展開。B3フロアでは、洋食をベースにしたカジュアルダイニング「1/2 (Nibun no Ichi)」で、食を通じた新しい体験を提供しています。

都会の中の公園を再定義して生まれた Ginza Sony Park は、余白とアクティビティによって、街や人に新たなリズムを生み出し続けます。

Sony Park 公式 Web サイト・SNS アカウント

Web : <https://www.sonypark.com/>

Instagram : <https://www.instagram.com/ginzasonypark/>

X : <https://x.com/ginzasonypark/>

Facebook : <https://facebook.com/ginzasonypark/>

YouTube : <https://youtube.com/ginzasonypark/>

@ginzasonypark #GinzaSonyPark